

まかぬ種なら生えやせぬ

メーデーの歌（その四）

一、此世の富も繁榮も

われ等が汗の末になる

われ等が手をば置く時は

世界も闇となりぬべし

汗の値ひの貴さを

いざ遊民に示さばや

二、國と國とに隔つれど

賃銀奴隷の屈辱に

悲憤は同じ労働者

國の境を今日越えて

團結力を試すべく

堅き握手を交すかな

三、史を按ずればす、茲に

血を以て染めし三十年